

第10期（平成30年度）

事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

平成30年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 調査研究事業
- 調査研究成果の推進及び普及事業
- 技術・技能研修事業
- 交通信号工事士技能検定事業
- 災害等非常時に即応する活動事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業

について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は次のとおりである。

(1) 定時総会 平成30年5月21日(月)

審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算報告並びに監査告に関する件

(2) 理事会

審議事項

(第1回) 平成30年4月27日(金)

第1号議案 平成30年度定時総会の開催に関する件

第2号議案 平成29年度事業報告及び収支決算並びに監査報告に関する件

第3号議案 平成30年度収支予算書の修正に関する件

第4号議案 交通信号工事士技能検定規程の一部改正に関する件

(第2回) 平成30年11月16日(金)

第1号議案 個人情報の保護に関する法律並びに特定商取引に関する法律で義務付けられている諸規程の整備に関する件

(第3回) 平成31年3月8日(金)

第1号議案 平成31年度事業計画及び収支予算に関する件

第2号議案 平成30年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 平成31年度第1種交通信号工事士技能検定実施要領に関する件

第4号議案 平成31年度第2種交通信号工事士技能検定実施要領に関する件

第5号議案 事務局長の任免に関する件

(3) 委員会

ア 総務委員会

理事長、副理事長、各委員会委員長等で構成され、当年度の事業計画に係る課題の推進方法等を検討し、また各委員会の取組状況の報告を求めて、取組内容、方法、スケジュール等の確認・調整を図った。

委員会開催数 6回

イ 交通信号工事士技能検定委員会

業務分野毎に、ハンドブック編纂作業部会、資格更新・技術講習会作業部会、技能検定試験作業部会を設置し、各事業を推進した。

委員会開催数 8回

ウ 防災対応委員会

業務分野毎に、防災協定作業部会、交通信号工事甲子園準備実行作業部会、安全衛生作業部会を設置し、各事業を推進した。

委員会開催数 6回。

エ 交通信号工事品質向上研究委員会

理事長、副理事長、警視庁職員、当協会事業者職員、公益財団法人日本交通管理技術協会職員及び交通信号機メーカー職員で構成され、業務分担毎に作業部会を設置し、各事業を推進した。

委員会開催数 1回

オ 広報委員会

当協会ホームページの効果的運営、広報誌発行、情報収集活動、会員募集活動を推進した。

委員会開催数 4回

2 事業の概要

(1) 調査研究事業

ア 交通信号施設の工事に関わる設計・施工及び保守技術の総合的研究

(ア) 交通信号工事の品質向上に関する調査研究

交通信号工事品質向上研究委員会委員会作業部会により次のとおり調査研究を行った。

a 交通信号工事設計作業部会

交通信号工事施工ハンドブックの増刷に伴い、必要最小限の見直し（誤字、脱字、法改正等）を行った。なお、本格的改版は、平成31年度に実施する予定である。

b 交通信号工事適正化作業部会

(a) 主要機材の使用状況調査

信号柱、灯器アーム、ケーブル、端子箱について、全国160社対象に使用状況を調査した。

(b) 不具合事例収集及び改善策の検討

会員会社を対象に不具合事例31件を収集し、改善策を検討した。

(c) 交通信号工事安全必携を編纂した。

イ 交通信号施設に関わる物品販売及び斡旋

工用部品、通信線材、信号柱、測定機材等の販売及び斡旋方策を検討している。

ウ 会員の健康増進支援方策を検討

安価かつ短時間測定癌検診（超音波エコー検診）を推奨した。

(2) 調査研究成果の推進及び普及事業

ア 交通信号工事に関わる図書の販売及び活用

交通信号工事施工ハンドブック、交通信号施設保守点検ハンドブック及び交通信号工事設計ハンドブックの販売を促進するとともに、第1種・第2種交通信号工事士技能検定の教材として活用した。

販売実績は、表1のとおり。

表1 ハンドブックの販売実績

項目	会員	警察	一般	計
交通信号工事施工ハンドブック	356	20	106	482
交通信号施設保守点検ハンドブック	192	2	4	198
交通信号工事設計ハンドブック	184	3	6	193
計	732	25	116	873

イ 防災対応要綱第7条経営事項審査における確認書類の交付

会員会社7社に交付した。

(3) 技術・技能研修事業

ア 交通信号工事士更新講習会の実施（表2）

平成30年4月～5月にかけて、交通信号工事士更新講習会実施したところ、248名が受講した。

表2 交通信号工事士更新講習会実施状況

講習内容	講習1 交通信号施設の概要 講習2 施工技術・施工管理 講習3 安全管理の方法		
	受験者数	会員	一般
札幌	4	1	5
盛岡	20		20
福島	9	12	21
東京	68	4	72

静岡	9		9
金沢	19	6	25
名古屋	22	6	28
大阪	27	4	31
熊本	18	19	37
計	196	52	248

イ 技術講習会の実施

奈良県警察本部交通規制課の要請により交通管理専科において、次のとおり講習会を実施した。

① 期日：平成30年5月17日 160分間

② 場所：奈良県警察学校

③ 講義内容

- ・信号機なんでも読本解説

講師 全信工 河端広三氏

信号機の現示、サイクル、スプリット、オフセット等の意味をわかりやすく説明した。

- ・信号機なんでもチェック

講師 ミナモト通信株式会社関西支社長服部敦司氏

信号制御機、灯器、感知器等に直接触れ、故障した場合の要点等を説明した。

④ 受講者 奈良県警察 12警察署14名

オブザーバー参加 奈良県警察本部交通規制課員 2名

ウ 平成30年度産業廃棄物処理に関する講習会の実施

① 期日：平成30年12月12日（水）

② 場所：東京都中央区日本橋室町1-6-3 ビジョンセンター日本橋

③ 講習内容

講師 （公財）日本産業廃棄物処理センター 坂本啓太郎氏

- ・産業廃棄物に対する基本的知識の確認
- ・法律改正に伴う必要事項の確認
- ・現場代理人及び運搬責任者に対する理解度の向上
- ・交通信号工事における産業廃棄物処理の様々な疑問の解明

④ 参加者：41団体88名（内警視庁28名）

(4) 交通信号工事士技能検定事業（表3、表4）

ア 第1種・第2種交通信号工事士技能検定試験の実施

平成30年8月5日（日）全国一斉に試験を実施したところ、

第1種165名合格、第2種188名（内行政職員15名）が合格した。

この結果、交通信号工事士資格保有者数は、つぎのとおりとなった。

第1種 165名
 第2種 2,286名 (内行政職員71名)
 計 2,451名

表3 第1種交通信号工事士技能検定実施状況

会場	会員		一般等		計	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
札幌	6	4			6	4
仙台	16	16			16	16
東京	45	38	1	1	46	39
金沢	15	14			15	14
名古屋	38	33			38	33
大津	7	7	1	1	8	8
大阪	37	30	1		38	30
高松	4	4			4	4
福岡	19	17			19	17
計	187	163	3	2	190	165

表4 第2種交通信号工事士技能検定実施状況

会場	会員		一般等		計	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
札幌	8	7	1	1	9	8
仙台	16	10	11	6	27	16
東京	39	29	17	9	56	38
金沢	9	4	7	6	16	10
名古屋	13	7	8	8	21	15
大津	13	10	19	19	32	29
大阪	33	22	9	7	42	29
高松	6	4	18	17	24	21
福岡	16	14	15	8	31	22
計	153	107	105	81	258	188

イ 交通信号工事士技能検定受験準備研修会の実施 (表5)

当研修会は、交通信号工事士技能検定試験受験者を対象にしたものであり、受講率 (受講者数/受験者) は、第1種64% (121/190)、第2種55% (142/258) であった。

なお、本研修会を受講した者が合格した比率 (合格者数/受講者数) は、第1種91% (=110/121)、第2種:75% (=107/142) であった。

表5 交通信号工事士技能検定受験準備研修会実施状況

会場	第1種			第2種			計		
	会員	一般	小計	会員	一般	小計	会員	一般	計
札幌	7		7	5		5	12		12
盛岡	12		12	11		11	23		23
東京	25	1	26	23	11	34	48	12	60
金沢	12		12	5	5	10	17	5	22
名古屋	30		30	13		13	43		43
大津	7	1	8	19	22	41	26	23	49
大阪	14		14	11		11	25		25
広島	5		5	7		7	12		12
長崎	7		7	2	2	4	9	2	11
熊本			0	6		6			6
	119	2	121	102	40	142	221	42	263

(5) 災害等非常時に即応する活動事業

ア 平成30年度近畿管区広域緊急援助隊合同訓練

大規模災害発生時において広域緊急援助隊及び防災関係機関による合同訓練を実施した。

○ 訓練想定

- ① 期日：平成30年11月19日（月）
- ② 場所：奈良県五條市上野公園及びシダールアリーナ
- ③ 訓練想定

中央構造線断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震発生により甚大な被害が発生。

- ④ 主催：近畿管区警察局、奈良県警察本部
- ⑤ 参加者 近畿管内府県警察、奈良県、自衛隊及び全信工
- ⑥ 来賓：警察庁長官、近畿管区警察局長、近畿管区内各府県警察、奈良県公安委員会、奈良県議会、全信工理事長

⑦ 全信工による訓練内容

当会会員が訓練用の模擬信号機を設置し、その施設において警察官が可搬式発電機を作動させ停電により滅灯した信号機を作動させる訓練を実施した。

（当会のシンボルマークを記したウインドブレーカーを作成し着用した。）

イ 国土交通省・岩手県警察等災害情報伝達訓練

- ① 期 日：平成30年11月30日（金）
- ② 参加者： 国土交通省、岩手県警察交通規制課、全信工他
- ③ 訓練内容

岩手県協会会社の協力の下、情報伝達訓練（約35分）を実施した。

ウ 南海トラフ地震を想定した情報伝達訓練

- ① 期 日：平成30年12月7日（木）
- ② 参加者：全信工理事、監事等
- ③ 訓練内容

当会理事の所属する会社等の協力の下、携帯電話及びLINE（携帯アプリ）を使用し、情報伝達訓練を実施した。携帯電話は、7チームに分け最大で33分、LINEは4分で情報伝達できた。この結果を踏まえ、伝達方法を協議することとした。

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 関係行政機関への協力及び提言

(ア) 三重県警に対し、入札参加資格審査条件に、交通信号工事士資格を提言したところ

○平成31年度は、三重県警察交通信号機等保守点検委託仕様書において「第1種又は第2種交通信号工事士資格を有する者（以下「有資格者」という。）を本業務に従事させるとともに、各種報告書に「有資格者」の確認印を押印すること。」

○三重県警察交通信号機工事仕様書において

「工事にあたっては、第2種交通信号工事士資格を有する者を従事すること。」

と明記された。

(イ) 東京都中野区の「中野区交差点防犯カメラの設置」及び「中野区交差点防犯カメラの保守点検」の仕様書に交通信号工事士の資格が明記された。

○「中野区内交差点に設置する防犯カメラ機器類の購入」において

「設置について、乙従事者または作業従事者に交通信号工事士並びに電気工事士有資格者を有すること。」

○「中野区交差点防犯カメラ機器類保守点検の業務委託（単価契約）において

「保守点検作業については、乙従事者または作業従事者に交通信号工事士並びに電気工事士有資格者を有すること。」

イ 関係団体への加入及び連携による業務改善活動

交通工学研究会と連携し、前ア項の成果を得た。また、平成31年度は、公益財団法人日本交通管理技術協会の会員となり、連携して更なる業務改善を行う予定である。

ウ 広報活動

(ア) 情報収集活動

会員の当協会に対するニーズの把握や交通システムの技術情報等情報収集活動を推進した。

(イ) 全信工ホームページの効果的運営

a 交通信号工事士への連絡・周知事項を徹底する等、当協会ホームページの効果的運営を図った。

b 全信工ホームページを活用したバナー広告の募集

15団体（会員12団体、非会員3団体）の応募があった。

(ウ) 広報誌発行

全信工ニュース第23号及び第24号を全信工ホームページに掲載するとともに、警察庁、各都道府県警察本部に提供した。

エ 会員募集活動の推進

理事長、各理事及び広報委員会が中心となり、関西8業者に、協会活動の状況を説明し、入会を勧めた結果、会員数は212名となった。

表6 当協会発足から現在までの会員の推移は、次のとおりである。

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
正 会 員	入会者数	70	30	21	12	9	9	5	9	4	2
	準会員→正会員						3	1	2	1	
	正会員→準会員						1				
	退会者数			3	1	2	1	1	3	1	7
	正会員数	70	100	118	129	136	147	152	159	163	158
準 会 員	入会者数	14	9	20	9	2	16	1	1	2	2
	準会員→正会員						3	1	2	1	
	正会員→準会員						1				
	退会者数				1	3	2	4	2	4	
	準会員数	14	23	43	51	49	61	57	55	52	54
計	会員数	84	123	161	180	186	208	209	214	215	212

オ 交通信号工事のブランド力の向上

交通信号工事甲子園の開催

(ア) 交通信号工事甲子園（東日本ブロック大会）の開催

①期 日：平成30年5月25日（金）

②場 所：埼玉県児玉郡上里町 株式会社カンドー敷地内

③参加者：30社約150名

④来賓者：警視庁交通部交通管制課 管理官 宮田 晋
 （公財）日本交通管理技術協会 参事 野田素良

⑤その他

競技開始前に次の研修を実施した。

- ・ヨシモトポール製鋼製根巻の施工体験
- ・日本地工製 ポールアンカーの施工体験
- ・ヨシモトポール製Gブロックの施工体験
- ・タダノによるユニック操作及び玉掛検証

(イ) 交通信号工事甲子園（西日本ブロック大会）の開催

- ①期 日：平成30年6月4日
- ②場 所：三重県三重郡菰野町（株）シンコーワ敷地内
- ③参加者：約100名
- ④来賓者：三重県交通規制課長他3名
愛知県警察交通規制課長他6名
京都府警察交通規制課長他3名

カ 地方活動の強化

(イ) 技術研修活動の試験的实施

交通信号工事技術者の新人育成、後継者育成、より高度な知識を有する技術者の育成等社員教育は喫緊の課題になっている。

このため、会社間で社員教育を共有する活動を開始した。

○講習1（株式会社都市交通テクノロジー・株式会社シンコーワ合同）

- ① 期日 平成30年5月7日（月）～5月31日（木）
- ② 場所 三重県三重郡菰野町 株式会社シンコーワ
- ③ 研修内容
 - ・信号工事一式、図面の理解、書類作成、事故対応、他県との相違等
 - ・保守（障害対応）、事故対応、定数設定、他県との相違等
 - ・安全管理、品質管理、ISO、事故発生時の対応等
 - ・施工管理、工程表の作成、申請書類の作成等
 - ・交通信号機の運用、道路構造、系統制御等
 - ・CAD操作

○講習2（株式会社シンコーワ・株式会社デューイテクニカル合同）

- ①期日 平成30年8月3日（金）～8月10日（金）
- ②場所 三重県三重郡菰野町 株式会社シンコーワ
- ③研修内容
 - ・各機器の役割、保守（障害対応）、事故対応、定数設定等
 - ・交通事故、信号機の歴史、交通信号機の運用、道路構造、系統制御